



としょかんだより

令和5年度 梅雨号
志免西小学校図書館

あめ ひ ほん よ 雨の日はじっくり本を読もう



ねんかん なか ばんかしたしさつすう なんがつ おも
1年間の中で1番貸出冊数が増えるのは何月だと思いますか？

こた がつ あき どくしょ あき おも ひと
答えは6月です。「えっ秋じゃないの？読書の秋っていうでしょ？」と思う人もいる

かもしれないね。6月は梅雨に入るため、たくさん雨が降ります。外で遊べないとき、

ほん か よ おも ひと しめにししょうがっこう おお みな おな
本を借りて読もう！と思う人が志免西小学校には多いようです。そして、皆さんと同じ

ように、昔の人も「雨の日は読書」と思っていたようです。

こんなお話があります

どくしょさんよ 読書三余

「どくしょさんよ」と読みます。昔の中国にいた「董遇」という

ひと ことば どうぐう でし ほん かいよ かいよ わ
人の言葉です。董遇は弟子に「本は100回読みなさい。100回も読めば、わからないこ

とも自然と分かるようになる」と教えました。「100回も読む時間がありません」と言っ

た弟子に董遇は「人の生活の中には三つの余暇（空き時間）がある。それは冬と夜、そ

して雨の日だ。この時間を読書に使いなさい」と言いました。そのことから「読書三余」

という言葉は生まれました。

あめ 【雨のおはなし】

第1図書室《季節の本コーナー》で紹介中



913 お
『雨の日は、いっしょに』
しゅじんこうは、きいろいかさ。
おりたたみがさやビニールがさ
にあこがれています。ちがうせ
かいをしるために、ぼうけんに
でるけれど…？



913 ひ
『雨ふる本屋』
ルウ子は、カタツムリにさそわ
れて“雨ふる本屋”へ。出迎え
てくれたのは、摩訶不思議な本
と、ドードー鳥の店主と助手の
まいまいこ 舞々子、そして妖精たち。



どくしょしゅうかん あじさい読書週間

がついつか げつ がつ にち きん
6月5日（月）～ 6月16日（金）

- ◆ この期間中、本を一度に4冊借りることができます。
- ◆ 今年度あたらしく志免西小学校に来られた先生たちの
おすすめの一冊を紹介しします。
- ◆ 西っ子タイムに読書時間があります。
いつでも本が読めるように準備をしておきましょう。



にし こ としよいいんかい としよいいん
西っ子サイトの【図書委員会】のページでは、図書委員さんの
おすすめの本を紹介しています。ぜひのぞいてみてくださいね！



うちどく と く 家読に取り組みよう

- うちどく 家読とは…
- 家族で同じ本を読み、感じたことを話す
 - おうちの人に本の読み聞かせをする
 - 一緒に図書館に行く などなど

おうちで読書することだけが「家読」ではなく、いろいろな取り組み方
があります。おうちの人に**おすすめの本をインタビュー**したり、**家族と読む
ための本**を学校で借りたり、自分に合った**家読**を楽しんでみましょう。

あじさい読書週 間中は貸出冊数が増えます。家読用の本を借りて、おう
ちでも楽しんでください。